



# Veritas Alta™ Data Protection

## クラウド環境における基本的なバックアップを 超える機能を実現

DevOps プロフェッショナル、クラウドアーキテクト、アプリケーション開発者の目標の 1 つは、クラウドにある何十億ものファイルやオブジェクトを保護することです。そこで特に重要になるのが、災害発生時に単一ファイルまたはデータセット全体を迅速に特定してリカバリし、アプリケーションとビジネスをオンラインに戻すことですが、クラウドの専門家の 99% は（常時、またはほとんどの場合）クラウドサービスプロバイダ（CSP）が提供する基本的なデータ保護ツールを使用しています<sup>1</sup>。このことがデータリカバ리를複雑化させ、時間がかかる要因となっているため、最も必要なタイミングで望ましくない状況が生じています。

信頼できる CSP によって提供される基本的なツールは、最初のうちはコスト効率に優れ、使いやすいように思えても、全体的なコストやリカバリ作業の負荷が高くなる可能性があります。このようなデータ保護ツールは、スナップショットベースです。アプリケーションデータのコピーを簡単に作成できるものの、その機能は基本的なものであるため、コストのかかるストレージが大量に消費され、データのリカバリが困難になります。ツールによっては、1 つのファイルを参照してリカバリするために、レプリケートされたボリュームを一時的な場所にリストアしてマウントする必要があります。環境全体をリカバリする場合も同様ですが、リストアできるのはデータだけであるため、アプリケーション環境を再構築しなければ、リカバリしたデータを使用してアプリケーションをオンラインに戻すことができません。確かにデータの保護やリカバリは可能ですが、プロセス全体としては時間がかかり、エラーも発生しやすくなります。

クラウドでエンタープライズクラスのバックアップとリストアを実現することは、それほど難しいことはありません。Veritas Alta Data Protection を利用すれば、効率的で弾力性に優れたサービス指向のアーキテクチャを活用した、自動化されたシームレスなデータ保護が可能になり、安全でコスト効率の高いデータ保護とデータ保存を実現できます。1 つのファイルのリカバリであれば、ボタンをクリックするだけで簡単にファイルを特定してリストアできます。システム全体を対象とする複雑なリストアの場合でも、作業を自動化することで迅速かつ信頼性の高いリカバリを実現し、アプリケーションとビジネスのダウンタイムを最小限に抑えることができます。

### データ保護の課題

急増するデータ量、急速なクラウド移行への取り組み、さらにはデータ保護エキスパートの不足により、データ保護の課題やサイバーリスクにさらされる機会が増えています。また、クラウドはデータの無秩序な拡散にもつながっており、シニア IT リーダーの 58% がデータフットプリント全体を把握していません<sup>1</sup>。データの存在を把握していなければ、データを保護することは困難です。クラウドにおけるランサムウェア攻撃は増加の一途を辿っており、クラウドにデータを保有する企業の 89% がランサムウェア攻撃を経験しています<sup>1</sup>。こうした攻撃を受けた際は、多くの場合、完全なリストアを迅速に行う必要がありますが、サイバー犯罪者の激しい攻撃、自然災害の増加、人的ミス、計画外のクラウド停止などの要素を踏まえると、データの安全性と迅速なリカバリを確保するには、CSP のチェックボックスをオンにするだけでは不十分です。

基本的な要件の 1 つとして、まずデータ保護とセキュリティに責任を持つのは誰なのか（お客様か CSP か）を理解しなければなりません。それには、責任共有モデルを理解することが非常に重要です。責任共有モデルは、クラウドインフラの保護、そのインフラ内で実行されているアプリケーション、そしてクラウドに保存されているデータについて、責任の所在の大枠を定めるものです。

つまり、CSP はクラウド自体の回復力に、お客様はクラウド環境内の要素の回復力にそれぞれ責任を持つこととなります。お客様は、データ、そのセキュリティ、一貫性、正確性、バックアップ、ワークロードアーキテクチャ、障害管理について適切に管理する必要があります。

この課題をさらに深刻にしているのは、多くの場合、データが異なる CSP、エッジ、オンプレミスに存在することです。結局のところ、データがどこにあると、データに対する責任はお客様にあります。そのため、費用をなるべく抑えながら、データの可用性、保護、コンプライアンスを常に確保する必要があります。決して簡単な取り組みではありませんが、クラウド、エッジ、コアのすべてのインフラ

に対応する実績あるデータ保護プラットフォームが 1 つあれば、必要なエンタープライズクラスの保護を実現できます。さらに、配備と管理が簡単で、コストをかけず自動的に拡張でき、ファイルレベルのリストアと完全なシステムリストアを迅速に行えるソリューションが必要です。

データセキュリティとデータスプロールといった今日の課題に対処する最善のアプローチは、すべてのデータをベリタスで管理することです。Veritas Alta は、包括的なデータ保護戦略によって、お客様が必要とする経済性、拡張性、柔軟性、リカバリ時間を実現します。使いやすいソリューションによる最先端の機能で、スプロール、コスト、セキュリティの管理を強化できます。CSP によって提供される比較的新しい基本の機能だけでは困難な、高度な保護を提供します。

## Veritas Alta

Veritas Alta は、ハイブリッドおよびマルチクラウド環境向けに構築された、業界で最も包括的な統合クラウドデータ管理を提供します。また、クラウドのメリットを活用することで、コストを削減し、ランサムウェア攻撃に対する耐障害性を強化し、データの保護、可用性、コンプライアンスを実現します。さらには、AI と機械学習を使用してセキュリティとデータ管理プロセス全体の自動管理を可能にする、自律型データ管理の基盤を提供します。

ベリタスは、最も重要なアプリケーションの稼働環境を選択できることの重要性を認識しています。アプリケーションの稼働環境は、オンプレミス、クラウド、ハイブリッド、マルチクラウドなど、ビジネスニーズに応じて決定することができます。このような選択を可能にするために、ベリタスは Veritas Alta™ View も提供しています。これは、エッジ、コア、クラウドにわたり、データ資産全体を 1 つの画面で一元的に表示、制御するクラウドベースの管理コンソールです。

## Cloud Scale Technology

Veritas Alta Data Protection は NetBackup™ のクラウドネイティブな拡張機能で、Cloud Scale Technology を搭載しています。クラウドネイティブソリューションの Cloud Scale Technology は、クラウド、ハイブリッド、マルチクラウド環境でのデータ管理に関するインサイトとインテリジェンス運用を拡張します。具体的には、自動化されたポリシーとプロビジョニングを利用し、弾力性の高いサービスを動的に割り当て、マルチクラウドソリューションの統合を実現します。複数のクラウド間で一貫したエクスペリエンスを提供することで、投資収益率、サービスの回復力、セキュリティを高めると同時に、運用の複雑さとコストを軽減します。

## Veritas Alta Data Protection

Veritas Data Protection ポートフォリオでは、顧客が重要なデータに常にアクセスできることを優先課題にしています。このポートフォリオには、Veritas Alta™ Backup as a Service、Veritas Alta Data Protection、Veritas Alta™ Recovery Vault、Veritas Alta™ SaaS Protection があります。Veritas Data Protection ポートフォリオは、エッジ、コア、クラウドの重要なデータに対して、セキュリティ、サイバーレジリエンス、マルチクラウドの可視性、コントロールを重視したエンタープライズクラスのデータ保護を提供しながら、総所有コスト (TCO) を削減します。

### スナップショットはバックアップではない

多くのクラウドベンダーでは、バックアップとしてスナップショットの作成しか行っていません。スナップショットは、基本レベルの保護を提供する短期的なソリューションとして利用されている一方で、維持コストが高く、リカバリも困難な場合があります。また、本番アプリケーションと同じアレイに存在するため、アレイ障害の影響を受けやすいという点からも、スナップショットをデータの有効なバックアップと見なすべきではありません。

しかも、こうした CSP では、スナップショットを高コストなプライマリストレージに保存し、重複排除を行わないため、必要以上に多くのストレージが使用されます。さらに重大な問題は、データが失われたときにどれだけ迅速にリストアできるかということです。一般的に、スナップショットにはデータのカタログがないため、ファイルビューはありません。つまり、個別にリカバリを行って単一ファイルをリストアすることができないのです。完全なリストアを行う場合は、マウントポイントを作成し、手動でファイルをリストアする必要があるため、時間がかかり、エラーも発生しやすくなります。



## Veritas Alta Data Protection

Cloud Scale Technology を搭載した Veritas Alta Data Protection は、クラウドのコンピューティングコストを最大 40%、クラウドのスナップショットストレージコストを最大 90% 削減します。これは、クラウドのミッションクリティカルなデータを大規模な環境で効率的に保護することを目的とした自己管理型の製品です。ベリタスは、世界有数の金融機関の多くを含む Fortune 100 企業の 91% の企業データを保護するために採用され、高く信頼されています。

### メリット: Veritas Alta Data Protection

<b>簡潔</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>統合の容易化を可能にした API ファースト戦略を採用した統合プラットフォーム</li><li>Web ベースのユーザーインターフェースにより、エッジ、コア、クラウドのデータ資産全体を 1 つの画面で管理</li><li>ワンクリックでのリカバリ</li><li>自動的で弾力性の高い拡張性により、インスタンスの使用を 40% 削減</li><li>Veritas Alta Recovery Vault のサービスオプションにより、ストレージの作成と管理が不要</li></ul>
<b>配備の選択</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>ハイブリッド、マルチクラウドの環境に対応</li><li>さまざまな配備オプションとテクノロジー: Infrastructure as a Service、Platform as a Service (PaaS 環境で動作する非構造化データやデータベースを含む)</li><li>VMware 環境とオブジェクトストレージの安全性の確保と保護</li><li>最新のクラウドインフラ (コンテナ、Kubernetes、マイクロサービス) の安全性の確保とデータ保護</li></ul>
<b>コスト効率の高い データ保護: 弾力性</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>弾力性の高いデータ管理と保護を活用できる機能 (必要に応じてリソースを追加し、バックアップを適切なタイミングで確実に実行)</li><li>バックアップのためのリソースの過剰なプロビジョニングや拡張計画が不要 (自動的に実施されるため、時間、労力、コストを削減可能)</li></ul>
<b>コスト効率の高い データ保護: 重複排除</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>データのバックアップと同時に重複排除が実施されるため、必要なストレージの量とコストを大幅に削減 (最大 95%)</li><li>完全なシステムリカバリまたはファイルレベルのリカバ리를迅速に実施できる機能</li></ul>
<b>コスト効率の高い データ保護: インテリ ジェントな階層化</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>インテリジェントなポリシーベースの管理により、ウォームデータまたはコールドデータを高価なプライマリストレージから安価なセカンダリストレージに移行して、コストを大幅に削減</li><li>インテリジェントなポリシーベースの階層化により、最大 40% のコストを削減</li></ul>
<b>セキュリティ強化</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>データ資産に対する AI ベースの異常検出とマルウェア検出を、データのバックアップとリカバリ時に実施することで、ハッカーがすでにシステムに侵入していてもその伝播を阻止</li><li>転送中および保管中のデータ暗号化による保護の強化</li><li>ロールベースのアクセス制御により、安全な環境を実現</li><li>分離型リカバリ環境によるリカバリの前に、クリーンかつ正常なデータを確保</li></ul>

<b>ワンクリックでのリカバリ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボタンをクリックするだけで、複数のサイトまたはクラウドにまたがる完全なリストアを自動化および統合</li> <li>・ 規模に制限のない迅速なリカバリ</li> <li>・ 必要な依存関係をすべて維持した状態で、データとアプリケーションにオンラインアクセス</li> <li>・ 重複排除されたデータをオブジェクトロックテクノロジーで送信および保存し、(効率的に保存された重複排除データから) データセンター全体をオンデマンドで起動できるのはベリタスだけ</li> </ul>
---------------------	---

## Veritas Alta Recovery Vault

エンタープライズクラスのデータ保護とセキュリティは必要だが、手間のかからないものがよいとお考えですか？クラウドベースのデータ保持サービスである Veritas Alta™ Recovery Vault なら、エンタープライズクラスのセキュリティとデータ保護のあらゆるメリットを活用でき、ストレージの作成と管理が不要になります。Veritas Alta Recovery Vault では、エンドツーエンドの重複排除により、使用した分のストレージに対して支払うだけで済むため、最大 95% のコストが削減されます。また、ランサムウェア対策や転送中と保管中の暗号化を実現するセキュリティ強化、マルウェアの自動スキャンを可能にする非ホスト型データベース PaaS、手動スキャンと即時可視化のための Veritas Alta Recovery Vault アーカイブイメージの活用機能も提供されます。また、改ざん不可能なストレージだけでなく、アーカイブ層も提供されるため、お客様に合った保護レベルとコスト構造を自由に選択できます。

## Veritas Alta SaaS Protection

SaaS は、CPU、メモリ、ストレージ使用率、可用性の綿密な監視にかかる負担を軽減し、運用を確保および最適化します。しかし、これによってデータの安全性と保護を確保する責任から解放されるわけではありません。責任共有モデルの一環として、SaaS アプリケーションデータのセキュリティと保護に対する責任は、明確にお客様にあります。

かつては例外的であった SaaS (Software-as-a-Service) アプリケーションは、多くの企業にとって標準的なアプローチとなりました。サービスの形での提供は容易であるため、各事業部門はこうしたアプリケーションを簡単に調達し、立ち上げることができます。しかし、データがどのように保護され、どのようにエコシステムに接続されているかについて、各事業部門は必ずしも把握しているわけではありません。データ保護の責任を担うお客様にとって、これが大きな問題となることがあります。そこで [Veritas Alta SaaS Protection](#) は、SaaS アプリケーションの多層的な保護に加え、エンタープライズクラスのパフォーマンスと拡張性を提供します。具体的には以下の機能が含まれます。

- ・ 単一のテナントアーキテクチャ (専用リソースを確保し、データのクロスオーバーを排除)
- ・ Azure Active Directory と緊密に連携
- ・ 転送中および保管中のデータに対するエンドツーエンドの暗号化
- ・ 詳細なロールベースのアクセス制御で、何の権限をどのユーザーに付与するのかをデータごとに指定
- ・ IP の許可 / 拒否リスト、プライベート VNet、アクセス制御リスト、多要素認証

## 総括

クラウドに移行したり、クラウドでアプリケーションを実行したりする際には、データのセキュリティと保護に責任があることを忘れてはなりません。そのデータが重要なものであれば、エンタープライズクラスのセキュリティとデータ保護が必要となります。セキュリティおよびデータ保護ソリューションを選定する際には、コストとリカバリ時間がビジネス目標を満たしていることを確認してください。

Veritas Alta Data Protection、Veritas NetBackup、および Veritas Alta SaaS Protection を利用すれば、データの安全性と保護、迅速なリカバリを確実に実現できます。これらのソリューションは、CSP のセキュリティ、サイバーレジリエンス、マルチクラウドの可視性、コントロールを拡張しながら、TCO を削減します。また、大規模なクラウドのミッションクリティカルなデータに対して、コスト効率の高い方法で安全性を確保し、保護するように設計されています。



Veritas Alta Data Protection が搭載する Cloud Scale Technology は、高い拡張性、柔軟性、回復力を必要とする最新のワークロードに適した、クラウドネイティブで弾力性の高いアーキテクチャに基づいて設計されているため、クラウド、ハイブリッド環境、マルチクラウド環境のデータを保護できます。Veritas Alta SaaS Protection は、SaaS アプリケーションの多層的な保護に加え、エンタープライズクラスのパフォーマンス、拡張性、強固なセキュリティを提供します。

1 [The Not So Silver Lining of Cloud Service Provider Tools]、Veritas 社および Vanson Bourne 社、2022 年 9 月

## ベリタスについて

Veritas Technologies は、マルチクラウドデータ管理のリーダーです。データの保護、リカバリ能力、コンプライアンスを確保するために、Fortune Global 100 の 95% を含む、先進企業 80,000 社以上が、ベリタスのソリューションを導入しています。ベリタスは、ランサムウェアのようなサイバー攻撃がもたらす脅威に対してお客様が必要とする回復力を提供し、大規模な環境でも信頼できると評価をいただいております。単一の統合されたアプローチを通じ、800 以上のデータソース、100 以上のオペレーティングシステム、1,400 以上のストレージターゲット、60 以上のクラウドをサポートしており、ベリタスの実行能力に匹敵するベンダーは他にありません。Cloud Scale Technology により、ベリタスは運用にかかる煩雑さや業務量を削減しつつ優れた価値を提供する、自律型データ管理の戦略を提供しています。ベリタステクノロジーズ合同会社は、Veritas Technologies の日本法人です。

# VERITAS<sup>™</sup>

ベリタステクノロジーズ合同会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44  
赤坂インターシティ 4 階  
[www.veritas.com/ja/jp](http://www.veritas.com/ja/jp)

各国オフィスとお問い合わせ先については、  
弊社の Web サイトを参照してください。  
[veritas.com/ja/jp/company/contact](http://veritas.com/ja/jp/company/contact)